

2008年7月31日

全電動式射出成形機「MDS-V」内覧会開催のご報告

弊社は、1998年に全電動式としては当時世界最大となる射出成形機を開発以来、UBEMAX MDシリーズも代を重ね、今年第5世代となるMDS-Vシリーズを開発しました。大型全電動射出成形機開発10周年記念も兼ねて、さる7月11日に”新シリーズMDS-V内覧会”を宇部本社内において、全国より多数のお客様にご参加賜り、開催しましたので下記に報告いたします。

1. 新シリーズMDS-V (MD850S-V)

新シリーズMDS-Vは、『Value Innovation』を開発コンセプトのキーワードとし、高剛性・ワイドプラテン型締構造による型締力クラスダウンの可能性を高めたことをはじめ、マシンの基本性能を大幅に革新し、性能向上を実現しました。内覧会の中では、その特徴について、実演(自動車部品成形)を加えて説明を行い、細部に渡りお客様へPRさせていただきました。



2. UBE射出成形技術(MD450S-IV 全電動式コ・インジェクション射出成形機)

弊社の成形技術として、2層(表裏異材質)成形品で、1層目(裏層)にPP樹脂、2層目(表層)にTP
Oエラストマーを用い、さらに1層目(裏層)、2層目(表層)ともに、UBE独自の低圧物理ガス発泡成
形システム「ECOPREST」で発泡させ、軽量かつクッション感のある成形品を紹介し、UBEの技術
力を用いた付加価値成形をアピールさせていただきました。また、ご参加いただいたお客様へは、
弊社工場のご案内や宇部興産グループの会社説明(当社屋上からグループ工場全体の説明)も行
い、UBEについて幅広くPRさせていただきました。

